

雲ながるる果てに（1953）

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争 青春

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1953/06/09

公開情報 松竹

【解説】

白鷗遺族会による『雲ながるる果てに一戦没飛行予備学生の手記』をもとに、「悲しき口笛」の家城巳代治が、神風特別攻撃隊の悲劇を描いた反戦ドラマ。芥川也寸志が音楽を担当した。

昭和二十年、九州の特攻隊基地が米軍機により襲撃を受けた。この攻撃により、出撃を待っていた学徒兵の秋田は死亡、深見は負傷してしまう。夫の死を知らずに基地を訪れた秋田の妻は、位牌を見て泣き崩れた。大滝と深見は出撃命令を待つが、連日の雨でなかなか命令が下りてこない。やがて雨が上がり、松井が出撃することになった。松井は深見に「戦争のない国で待っている」と告げて飛び立っていった。やがて大滝の両親から基地を訪ねるといふ知らせが来るのだが、そのとき大滝と深見に出撃命令が下る。

【クレジット】

監督 家城巳代治

製作 重宗和伸

伊藤武郎

若山一夫

脚本 家城巳代治

八木保太郎

直居欽哉

撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao

高山弥

音楽 芥川也寸志

出演 鶴田浩二

木村功

高原駿雄

沼田曜一

金子信雄

岡田英次 Eiji Okada

山田五十鈴